



米英に追随 競争力ランキング

経済部 広瀬謙哉

中国が金融センターとして存在感を増している。国際的なランキングで、上海がニューヨーク、ロンドンに次ぐ3位に浮上し、香港も含めれば10位内に4都市が入った。中国は「金融覇権」に一歩近づいたのか。

英シンクタンク「Z/Yen グループ」が半年に1度公表している「国際金融センター指数」。世界の金融機関や政府関係者など約8500人へのアンケートに基づき、各都市の金融センターとしての競争力をランキングしている。指数は、ビジネスのしやすさや人材の質、都市のインフラ、金融分野の発展度合いなど、約140の公表データも勘案して算出される。国際金融センターに関する包括的な調査として広く利用されている。

最新の今年9月のランキングによると、評価点が最も高かったのはニューヨークで77.0だった。ロンドンが76.6で続き、3位上海(74.8)、4位東京(74.7)、5位香港(74.3)の順だった。上海は前年3月からランキングを一つ上げ、評価点も8ポイントアップした。

中国は、北京が7位(前回7位)、深圳が9位(前回11位)に入り、評価点でも北京は7ポイント、深圳は10ポイント上げたが、前回の3位から順位を落とした。調査レポートでは、近年の上海の「躍進」に注目している。

上海証券取引所に上場している中国企業株式を海外投資家が売買できるようにした「開放政策」などで、「グローバルな投資家の信頼を高めた」と指摘。米JPモルガンといった海外の金融大手が上海への進出を加速させている点も評価した。

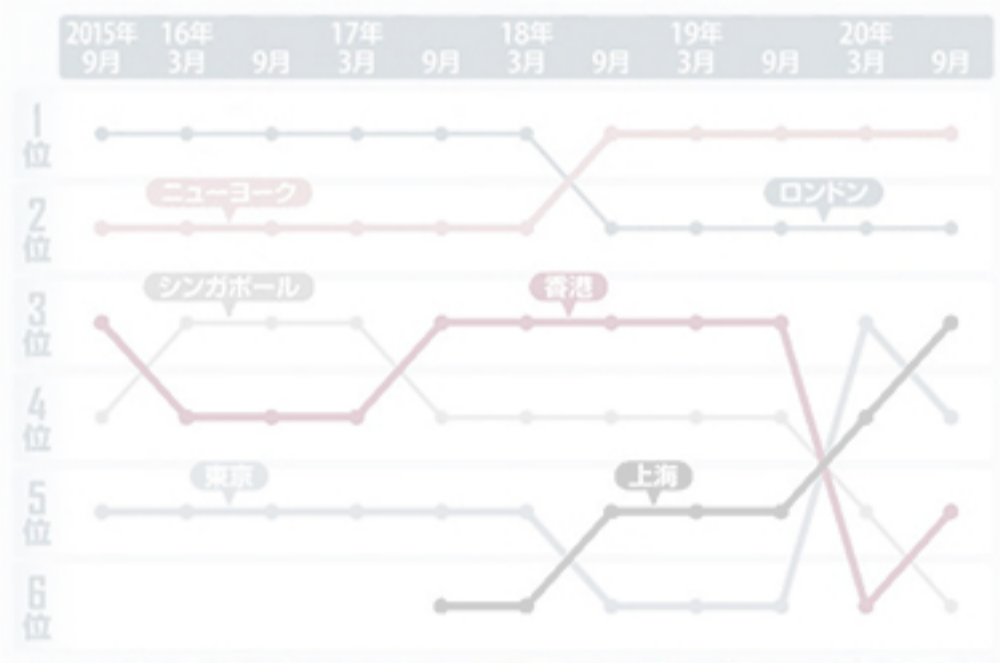
投資コンサルタントAISキャピタルの肖敏代表パートナーは、「中国国内の投資家層が厚みを増してきたことも、海外の金融大手には大きな魅力に映っている」と話す。

もっとも、アンケートの回答者を地域別にみると、アジア・太平洋が63%、西欧が18%、北米が7%と偏りがみえる。「指数作成で中国の政府系シンクタンクと提携している点には留意が必要だ」と(アナリスト)との指摘もある。

金融都市 中国が存在感

①「国際金融センター」の順位

Z/Yenグループの「国際金融センター」指数から作成。写真はロイター、AP



シンガポールに明け渡した。政治、社会の混乱がビジネス環境や投資の足を引っ張ったとされている。

米ヘリテージ財団による2020年の「経済自由度指数」によると、香港は2位となり、1995年から2019年まで25年連続で保ってきた世界1位の座を失った。

中国への海外からの直接投資の約70%、中国から海外への対外投資の約60%は香港経由だ。基幹通貨である米ドルの取引で、香港は英国、米国に次いで第3位の規模を誇る。香港は中国企業のグローバル化の規模を測る「グローバル化指数」でも、香港は2位と高い評価を受けている。

大手会計事務所アーンスト・アンド・ヤング(EY)によると、香港市場の20年1〜9月の新規上場件数は1199件の新規上場件数(96%)は前年同期(96%)とほぼ同水準だった。6月には、中国のゲーム大手・網易(ネットイース)、インターネット通販大手・京东集団(Jドットコム)が、米ナスダック市場との重複で香港に株式を上場した。

世界が注視するのは、中国人民銀行(中央銀行)によるデジタル人民元(デジタル元)の発行計画だ。デジタル元は人民元の利便性を高め、決済などに使われると見られる。ドルの基幹通貨体制にさびを打ち込む思惑をかき取る向きもある。通貨の覇権争いの行方が、世界の金融センターの地位に影響する可能性がある。

一方、日本はどうか。首相は先月の所信表明演説で、「海外の金融人材を受け入れ、アジア、さらには世界の国際金融センターを目指す」と述べた。

野村証券出身で、都内で投資塾を経営するエコノミストのエミン・ユルマズ氏は、「米中のはざま、金融分野での日本の立ち位置を示す必要がある」と指摘したうえで、「金持ち層と海外人材への税制面での特別措置などを実現できるか。本気度が問われる」とも述べた。

菅政権が打ち出す戦略にも注目が集まりそうだ。

日本の伝統に息づく美と技
VOL.3 珪瑯ダイヤルモデル 究極の白さを生み出す「匠の世界」

日本の美意識と匠の技が1本の腕時計に融合した「セイコー プレザージュ」。100年を超す時計づくりの中で培われてきた揺るぎない美しさに、歌舞伎俳優の松本幸四郎さんは目を惹かれた。国産初の腕時計にも採用された珪瑯(ほうろう)ダイヤルを現代によみがえらせた珪瑯職人の横澤満さんと、その魅力について語り合った。

0.01ミリ単位で調整、命を吹き込む
松本幸四郎(以下、松本) 文字盤の優雅な白さが印象的。それでいてぬくもりも感じさせてくれる。日用品に使われている印象の強い珪瑯ですが、腕時計のような精密機械に用いるケースは多いのですか。
横澤満(以下、横澤) 金属にガラス製の珪瑯(ゆうやく)を焼き付けたものが珪瑯。さびにくく耐久性があります。実はセイコーが1913年に発売した国産初の腕時計の文字盤にも珪瑯が採用されていたと聞き、それを現代によみがえらせることに職人としてやりがいを感じました。
松本 「腕時計の顔」となるわけですから気合が入りますよね。どの工程が最も難しかったですか。
横澤 文字盤が直径約3センチと小さく、サブダイヤルなどもあるため、珪瑯を均一な厚さで塗布することに細心の注意を要します。0.01ミリ単位での調整が求められ、最終的には感覚の世界になります。

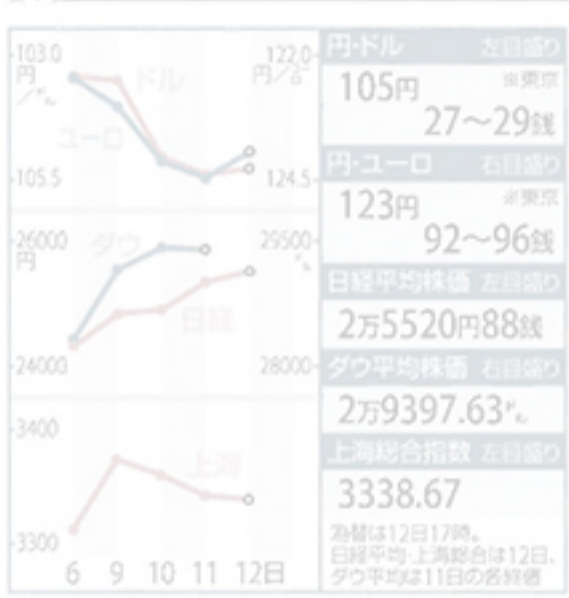
鍛錬の日々、磨き続ける不変の精度
松本 一定の精度を保ってモノを作り続ける。そこに匠としての経験が生かされるわけですね。ある意味、歌舞伎も似ていて、1か月の公演で同じ役を演じるわけですが、その日の体調やお客様の反応などは毎回違います。その中で同じ役をいかに演じ切ることができると、実は大変なことだと思っています。
横澤 同じモノを作るために、私も毎日のように試行錯誤を重ねています。気候によって仕上がりが影響を受けるからです。設備の整った施設の中でも、晴天時には湿度が低くなって、珪瑯の乾き具合が変わってきます。雨が突然降ったりすると仕上げも微調整しなくてはなりません。
松本 私はこの夏、オンライン歌舞伎を配信しました。挑戦の連続でしたが、世の中の変化に合わせて「歌舞伎の可能性」を探ることができました。横澤さんが「プレザージュ」という舞台で、珪瑯という伝統技術の可能性に真摯(しんしん)に向き合っているように、歌舞伎の未来を切り開いていきたいと思っています。

松本 幸四郎氏 歌舞伎俳優
横澤 満氏 珪瑯職人

SEIKO W035
セイコープレザージュ
珪瑯ダイヤル
自動巻
ステンレススチールケース、
ケース径40.5mm、
クォーツクロノメーター、
日本生産電磁気防水(10気圧防水)
キャリバー6R27(9000振動/秒)
132,000円(税込)
(税別120,000円)

セイコー プレザージュ × 松本幸四郎氏
対談

MARKETS 11月6日~12日



NEXT WEEK 11月16日~22日

- 16日 10月の中国鉱工業生産、小売り売上高
- 17日 10月の米小売り売上高、10月の米鉱工業生産
- 18日 10月の米住宅着工、10月の欧州新車販売
- 19日 9月のユーロ圏国際収支
- 20日 アジア太平洋経済協力会議(APEC) 首脳会議
- 21日 主要20か国・地域(G20) 首脳会議(22日まで、テレビ会議)

*** 中国 小売り改善予想**
中国国家統計局は16日、10月の主要経済統計を発表する。9月の鉱工業生産は前年同月比8.8%増だった。伸び率は新型コロナウイルスの感染拡大前の2019年12月と同じ水準まで回復した。9月の小売り売上高は3.3%増と、2か月連続で前年の水準を上回った。市場では10月の大型連休で消費の回復を示す指標が相次いだことから、小売り売上高はさらに改善するとの予想が多い。

*** APEC 新たな将来像議論か**
日本や米国、中国など21か国・地域が参加するアジア太平洋経済協力会議(APEC)は20日、首脳会議を開く。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、テレビ会議方式になる。2020年は、全ての参加国・地域が「自由で開かれた貿易・投資を達成する」という「ボゴール目標」(1994年採択)の最終年となっている。首脳会議では、新型コロナへの対応のほか、アジア太平洋の経済に関する新たな将来像などが議論される見通しだ。

DATA



広告 企画・制作 読売新聞社広告部

日本の伝統に息づく美と技
VOL.3 珪瑯ダイヤルモデル 究極の白さを生み出す「匠の世界」

日本の美意識と匠の技が1本の腕時計に融合した「セイコー プレザージュ」。100年を超す時計づくりの中で培われてきた揺るぎない美しさに、歌舞伎俳優の松本幸四郎さんは目を惹かれた。国産初の腕時計にも採用された珪瑯(ほうろう)ダイヤルを現代によみがえらせた珪瑯職人の横澤満さんと、その魅力について語り合った。

0.01ミリ単位で調整、命を吹き込む
松本幸四郎(以下、松本) 文字盤の優雅な白さが印象的。それでいてぬくもりも感じさせてくれる。日用品に使われている印象の強い珪瑯ですが、腕時計のような精密機械に用いるケースは多いのですか。
横澤満(以下、横澤) 金属にガラス製の珪瑯(ゆうやく)を焼き付けたものが珪瑯。さびにくく耐久性があります。実はセイコーが1913年に発売した国産初の腕時計の文字盤にも珪瑯が採用されていたと聞き、それを現代によみがえらせることに職人としてやりがいを感じました。
松本 「腕時計の顔」となるわけですから気合が入りますよね。どの工程が最も難しかったですか。
横澤 文字盤が直径約3センチと小さく、サブダイヤルなどもあるため、珪瑯を均一な厚さで塗布することに細心の注意を要します。0.01ミリ単位での調整が求められ、最終的には感覚の世界になります。

鍛錬の日々、磨き続ける不変の精度
松本 一定の精度を保ってモノを作り続ける。そこに匠としての経験が生かされるわけですね。ある意味、歌舞伎も似ていて、1か月の公演で同じ役を演じるわけですが、その日の体調やお客様の反応などは毎回

松本 幸四郎氏 歌舞伎俳優
横澤 満氏 珪瑯職人

対談の全編はウェブで <https://yab.yomiuri.co.jp/adv/presage/3.html>